横浜市指定 NPO 法人アクションポート横浜　事業報告書

２０１４／４／１－２０１５／３／３１

NPO 法人アクションポート横浜

１．市民や組織の連携により、新たな事業やシステムを創造するためのプロジェクト

横浜サンタプロジェクトの実施

企業・NPO と連携して実行委員会を結成し、横浜に笑顔をプレゼントするというテーマで、５つのサンタが様々な活動を行った。企業に働きかけ車や物品の提供をお願いし、活動に参加しやすい土壌をつくることができた。

日時：2014 年 12 月 6 日（土）12：00～16：00 実施
参加者（サンタ）：650 名
対象者：600 名　＊訪問先の子ども達などの人数

・**訪問サンタ**：横浜市内の７施設にオープンカー等でサンタが訪問。
・**広場サンタ**：パシフィコ横浜円形広場にて、子どもが楽しめるサンタステージ企画やブース企画を実施。
・**ドライブサンタ**：子どもたちを対象にオープンカーのミニドライブ体験を実施。
・**清掃サンタ**：横浜にキレイをプレゼント！サンタになって清掃活動を実施。

・その他：
　・横浜市長よりメッセージが届き、開会式にて代読。
　・季刊誌横濱 2014 年秋号、タウンニュース他に掲載。
　・横浜サンタプロジェクト２０１４の告知動画、報告＆PR 動画を作成。

◆主催：サンタが街にやってきた！２０１４実行委員会

有限責任 あずさ監査法人、株式会社安藤建設、株式会社イベント・コミュニケーションズ、
ＳＭＢＣコンシューマーファイナンス株式会社、ＮＴＴソフトウェア株式会社、株式会社大川印刷、
神奈川県印刷工業組合、心魂プロジェクト、首都高トールサービス神奈川株式会社、
ジョンソンコントロールズ株式会社、相鉄ビジネスサービス株式会社、株式会社野毛印刷社、
富士ゼロックスアドバンストテクノロジー株式会社、マツダ株式会社、
特定非営利活動法人横浜市民アクト、横浜市社会福祉協議会、 一般財団法人横浜市母子寡婦福祉会、
特定非営利活動法人アクションポート横浜

◆協力企業・団体

石井造園株式会社、横浜市西区役所、NPO 法人マメポニ、横浜・八景島シーパラダイス、
公益財団法人横浜市資源循環公社、株式会社横浜ビール

◆特別協賛

株式会社安藤建設、ＮＴＴソフトウェア株式会社、株式会社大川印刷、株式会社野毛印刷社、マツダ労働組合、
ロードスターチャリティフリーマーケット実行委員会、横浜信用金庫、横浜中華街パーキング協同組合

◆一般協賛

MMcc、公益財団法人海外日系人協会、神奈川県印刷工業組合、拮梗屋洋紙株式会社、
コーエーテクモホールディングス株式会社、株式会社コロワイド、
コールド・ストーン・クリーマリー・ジャパン株式会社 、相模鉄道、株式会社シオザワ、
四国紙商事株式会社、昭和紙商事株式会社、ジョンソンコントロールズ株式会社、相鉄企業、相鉄バス、
相鉄ビルマネジメント、相鉄ホールディングス、大王製紙株式会社、TAKEO、中越パルプ工業株式会社、
東京汽船株式会社、東京キリンビバレッジサービス株式会社、株式会社バゲージハンドラーズ、
花と緑の研究所株式会社、株式会社文友社、平和紙業株式会社、株式会社ポートサービス、マツダ労働組合、
メットライフ生命保険株式会社、ヨコハマ・グッズ 001、横浜市資源リサイクル事業協同組合、
横浜ベイシェラトン ホテル＆タワーズ組合、横浜 DeNA ベイスターズ、横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ

【成果と次年度に向けて】
□サンタプロジェクトでは、積極的な企業の関わりにより、企画の数や参加方法等を増やすことができ多くの方に関わってもらうことができた。
□今後も多様な企業が参加できるように、ノウハウの蓄積と成果の発信に力を入れていきたい。

みなとみらいサロンの実施

2013 年度、主にみなとみらい地区を拠点とする企業を対象とした社会貢献活動についての交流会を実施した。2014 年度は、前年検討した企業横断での社会貢献活動案の実践に向けて調整を進めたが、各社の実情を踏まえたところ、継続的な会合の実施も難しく、年度当初で終息させることとなった。

HSBC Water Programme

国際的な金融・銀行グループである HSBC グループが世界で展開している水資源に関する支援活動 HSBC Water Programme の日本におけるパートナーとして、協働にてプロジェクトを実施した。2014 年度は神奈川県全域で水資源、特に淡水資源に関する活動に取り組む環境団体に対して、大きく２つの枠組みで支援を行った。

□HSBC Water Programme アワード

●目的
・草の根的に活動している環境団体に対して支援を行う。
・認知度にかかわらず、社会的に価値のある活動、他地域の参考になる活動を発掘し発信していく。
・各団体のノウハウや資源を共有する場をつくり、団体間連携のキッカケとする。

●内容
①神奈川県下の淡水域をフィールドとして環境活動を行っている団体に活動支援金を贈呈。
《対象団体》
ふるさと大道の風景をつくる会(横浜市金沢区)、NPO 法人せせらぎ公園古民家管理委員会(横浜市都筑区)、
NPO 法人 とどろき水辺（川崎市中原区)、なかはら水と緑の環境ネット（川崎市中原区)、
平瀬川流域まちづくり協議会（川崎市宮前区)、横須賀「水と環境」研究会（横須賀市)、
馬入水辺の楽校の会（平塚市)、めだかサポーターの会（小田原市)、
自然保護団体「森戸川村」(葉山町)、葉山メダカの会（葉山町）

②対象団体の活動内容をウェブ上で発信する。
事務局員が対象団体の活動に参加し、体験レポートをアクションポート横浜のホームページにて発信。

③対象団体の方々が相互に交流するキッカケとなる交流会を開催する。

□環境イベント

●目的：企業と環境団体、中間支援団体がセクターを超えた連携をし、水環境の保全に取り組む。

●内容：神奈川県域で水資源、特に淡水資源に関する活動に取り組む市民団体と協働し、HSBC グループ社員が地域の方々と一緒に、各団体の活動内容に準じた活動を実践する。

例）清掃活動、生態調査、抽水植物の植栽等

●詳細：

《開催日》2014 年６月 14 日（土）

《会　場》大師橋下流多摩川河口干潟、大師河原水防センター（川崎市川崎区大師河原 1 丁目 1-15）

《テーマ》多摩川河口干潟体験会「多摩川の干潟を知ろう」

《参加者》86 名（だいし水辺の楽校との合同開催）

《共　催》NPO 法人多摩川干潟ネットワーク、川崎市

《内　容》干潟のクリーンアップ、生き物探し、エコクラフト体験

【成果と次年度に向けて】

□少額ではあるが使途自由で簡便な義務対応で済む活動支援金は、全ての対象団体から好評を得ており、草の根で活動する環境活動団体への支援の形として、一つの実績をつくることができた。

□これまでアクションポート横浜としてあまり繋がりのなかった、水辺の環境活動団体とのコネクションができた。１団体とは、次年度の環境イベントの受け入れ先となっていただくなど、今後別のプロジェクトでの連携が期待できる。

板橋プロジェクト（仮）

企業と連携し、団地のコミュニティ活性化のためのサポートとして、主に下記に取り組んだ。

□コミュニティ施設の活用案の検討

しかし、クライアントと団地の所有者である UR との契約において、大元の事業終了が決定したため、それに伴い本プロジェクトも終了となった。

体験レポート型情報サイト SPICE＋（横浜市市民活動支援センター自主事業）の実施

「何かしたい」ときっかけを求めている市民が NPO 活動に参加するきっかけを作ることを目的に、「SPICE＋」の企画運営を行った。サイトには大学生や若手社会人がレポーターとして NPO の活動現場を体験して、現場で感じた思いや魅力を記事として掲載し、発信していく。初年度となった２０１４年度はプロボノの力を借りて、レポーターチームの結成と WEB サイトの立ち上げを行った。

●レポーターチームの結成

学生や若手社会人向けにレポーター養成講座を実施し、若者がレポーターとなって NPO の現場を体験、情報を収集した。若者側、NPO 側のニーズもヒアリングし、１年間かけてよりよりレポートが作成できるようなマニュアル作りにも力を注いだ。

●WEB サイト「SPICE＋」の作成　http://spice-plus.yokohama/

集めた情報を元に WEB サイトを作成した。

ターゲット、コンセプト、デザイン、発信機能などについては会議と議論を重ね、プロボノの力を借りてクオリティの高いサイトが作成できた。

2．市民や市民活動団体の地域の課題解決や、そのための組織運営を支援するプロジェクト

ヨコハマ市民まち普請事業（横浜市都市整備局地域まちづくり課との協働事業）

市民が主体となった身近なまちのハード整備に関する提案を募集し、２段階の公開コンテストで選考された提案に対して、最高 500 万円の整備助成金を交付するなど、市民のまちづくり活動への支援を行う事業。 横浜市、NPO 法人市民セクターよこはまとの３者協働事業。2014 年度は下記の業務を担当した。

□整備成果報告会・活動懇談会・交流会（第四回まちづくりびと全員集合）の企画運営

日時：2014 年９月 27 日（土）9:45～16:20

〇平成 26 年度二次コンテスト対象提案 活動懇談会
提案団体と審査員、事務局、まちづくりコーディネーター、
過去の整備団体が参加して、提案のﾌﾞﾗｯｼｭｱｯﾌﾟための意見交換

〇平成 25 年度 整備成果報告会
完成した整備内容、その経過に関して報告。

〇パネルディスカッション＆交流会
「多様な世代が関わるまちづくりのツボを考える」をテーマに、パネルディスカッションを行ったのち、グループごとに質問を考え、フロア全体で質疑応答を行う形式で、地域まちづくりについて意見交換を行った。

□広報製作物の企画・制作

・第四回まちづくりびと全員集合の募集チラシ
・2015 年度 提案団体募集リーフレット

□平成 25 年度整備事例集の企画・製作

事例集 Vol.８：平成 24 年度選考・平成 25 年度整備完了の事例の取材を行いまとめた。

提案団体募集リーフレット

整備事例集

□部会運営の補助

横浜市地域まちづくり推進委員会ヨコハマ市民まち普請事業部会の運営補助（資料作成・議事録作成等）

□まちづくりのツボ発見バスツアーの企画・運営

一般市民向けに、これまでの整備事例をバスで回り見学するツアーを実施。
2014 年度は例年に比べ、まち普請事業への応募を検討されている方や、若い世代の参加者が多かった。

日時：2015 年２月 14 日（土）9:30～16:30

見学箇所：みまもりの家（瀬谷区）、かいだん広場（中区）、
さわやか港南（港南区）

□都市整備局地域まちづくり課の広報誌「ヨコハマ人・まち」の企画・制作

それぞれ下記のテーマで３号を制作した。

vol.45：学生が関わるまちづくり
vol.46：横浜・人・まちデザイン賞
vol.47：地域と企業の連携によるまちづくり

□都市整備局地域まちづくり課“公認”Facebook ページ ヨコハマ市民まち普請ひろば、および
グループページの開設・運営

下記を目的に運営。2015 年４月末現在、約 400 いいね！を獲得。

①事業の広報強化。特に発信の即時性の向上。

⇒ 新規提案者の増加、事業の評価向上

②活動のプロセスと成果の蓄積。

③整備団体の情報発信の支援、交流促進。

④多世代の交流促進

【成果と次年度に向けて】

□2014 年度はまちづくり人全員集合における若い世代を登壇者としたパネルディスカッションおよびワークショップの企画運営や、Facebook ページに開設・運営など、アクションポート横浜の強みを活かした取り組みができた。それもあってか、これまで以上に地域まちづくり課との協働での事業推進の意識が高まった。引き続き、この関係性を維持していきたい。

□2015 年度は事業開始から 10 周年の年に当たり、今後の 10 年に向けた節目となる。折しも、年度始めに日本都市計画学会石川賞の受賞が決まるなど、市内外における事業の評価を高める好機とも言える。一方、2015 年度から、コンテストの企画運営も含め、ほぼ全ての業務をアクションポート横浜で担当することとなったため、効率的・効果的に事業の推進に当たりたい。

あさひみらい塾（旭区地域振興課・区政推進課・市民活動支援センター「みなくる」との協働事業）

地域活動や社会貢献に関心があるが、方法論やきっかけが見いだせない区民を対象に、地域活動や地域課題解決に向けた議論の場を提供し、担い手不足を課題と感じている地域団体と、何か新しいことを始めてみたい方とのつながりづくり、自治会町内会、市民活動ボランティア団体との交流と出会いの場の提供をすることで、新たな地域の担い手の発掘と育成を行う事業。講座全体の企画・運営、広報、報告等を行った。

□全体コーディネーター：内海 宏氏（株式会社地域計画研究所 代表、NPO 法人アクションポート横浜 理事）

□参加者数：41 名（旭区内在住 30 代～80 代の男女。半数は各自治会からの推薦による参加）

□実施内容

	日程	内容・会場
第１講	11 月８日（土）	開講式・キックオフミーティング「つながりのはじまり」 @旭区市民活動支援センター「みなくる」
第２講	11 月 23 日（日）	見学会 Part①「“旭区の農は面白い”農に何を掛ける？」 @今宿コミュニティガーデン、櫻井造園土木株式会社
第３講	11 月 29 日（土）	見学会 Part②「地域の“宝”をフル活用 みんなで楽しむまちづくり」 @白根台第九自治会
第４講	12 月 10 日（水）	見学会 Part③「ステキな居場所は、こうやってできた！」 @今宿地域ケアプラザ
第５講	２月７日（土）	まとめミーティング「ワクワク・ドキドキを広げよう」 @旭区市民活動支援センター「みなくる」
第６講	２月 21 日（土）	開会式・成果発表・交流会「つながる・未来へ」 @旭公会堂

【成果と次年度に向けて】
□横浜市市民局がとりまとめる「協働の『地域づくり大学校』事業」の実績ができた。その中でも、他区とは違い、区内の事例を見学する、グループで課題に取り組むなど、旭区の状況に合わせた内容とした。
□事務局としてこれまであまり繋がりのなかった、旭区の活動者との繋がりができた。
■担当課が複数に渡り、担当者も多数いる中で、計画段階での前提のすり合わせが不十分であったため、事業推進の調整にかなりの労力をとられた。次年度は、より効率的に事業に取り組む必要がある。

地域少子化対策強化交付金事業における独身・未婚者向けセミナー（横浜市こども青少年局委託事業）

少子化対策の一環として、結婚・妊娠・出産・子育ての「切れ目のない支援」のための環境づくりに取り組むことを目的として、独身・未婚者に向け、ライフプラン・ロールモデルを提示し、自身の働き方や生き方について考える機会を提供するとともに、結婚や妊娠・出産、子育てに対する大変さや責任の重さ、漠然とした不安等のマイナスイメージを払拭し、“オトナになる・親になる”ことの楽しさや喜びを知るきっかけづくりとして、セミナーの一部の企画・運営を担当した。

□実施内容
《名　称》結婚を希望する方への結婚応援セミナー 横濱女子会
《開催日》2015 年２月 28 日（土）13:00～16:30
《会　場》横浜ワールドポーターズ６階　イベントホールＢ
《参加者》83 名
《主　催》横浜市こども青少年局企画調整課
《委託先》株式会社リクルート マーケティングパートナーズ、
NPO 法人アクションポート横浜
《協　力》NPO 法人びーのびーの
《同時開催》親など保護者への結婚情報提供講座（リクルート担当）
《内　容》（◆：アクションポート横浜担当分）
〇自分を知ろう！恋も仕事も結婚もすべてはコミュニケーションから
～あなたの魅力を知る自己分析～
◆先輩教えて、結婚のリアル！横浜市在住の既婚者のトークセッション
◆私たちのリアル女子トーク！見つけよう「わたしのみらいのキーワード」
〇横濱女子会応援ブース

チラシ

【成果と次年度に向けて】
□繋がりのある方からこども青少年局にご紹介をいただき、本事業を委託する事になった。全く新しいテーマの事業であったが、完遂することで新たな実績となった。
□企業との協働による事業であったため、特に会場の設営の手法などが、今後の参考となった。
■一方、事業途中から企業が参画してきて、事業全体の統括を企業が担当することとなったため、企業担当部分との企画との連動性を効果的に行いきれなかった。次年度も受託する場合には、企画全体に対する積極的な意見表明が必要となる。

３．市民活動や地域の課題解決に関する相談、コーディネート

認定・指定 NPO 法人による相談窓口事業の受託（横浜市市民局）

横浜市市民局の事業の一環として一般市民、NPO に向けた相談窓口を担当したが、年度中の相談は1件もなかった。これまでも、市民局に対して、相談受付の改善策を提案してきたが、提案が通ることもなく、事業の意義も見出せないため、次年度は継続しないこととした。

盆栽カフェの運営（石井造園との協働）

石井造園株式会社との協働により盆栽カフェの運営を行った。盆栽を通じて地域でのコミュニティづくりや文化の発信を目的として、初年度となる2014年度は中華街と黄金町にて盆栽カフェを実施した。出張型のカフェとして今後も市内各地で実施できる場所や機会を探していく予定。

＜主な活動＞

１）盆栽カフェ＠中華街パーキング

【営業日時】毎月第２土曜日　10:00 - 19:00

【出店場所】横浜中華街パーキング協同組合（横浜市中区山下町 94 番地）

＊盆栽カフェでは月に１回季節に合わせた企画やゲームなどを実施。
多くの人の目に触れるように工夫をして運営をしてきた。

２）盆栽カフェ＠黄金町バザール 2014

【営業時間】　11:00 - 19:00

＊「ヨコハマトリエンナーレ 2014」の実施期間中限定で常設盆栽カフェを運営

【出店場所】　高架下スタジオ Site-D 集会場

３）盆栽カフェ WEB サイトの運営

公式 WEB サイト及び Facebook ページによる情報発信を行った。

http://bonsaicafe-yokohama.net/

みなみハッピープロジェクトの実施（野毛印刷社・教育支援協会との協働）

「まちを元気にハッピーにする」をコンセプトに、子どもたちの「学びたい」「やってみたい」という気持ちを大切にし、子どもたちがさまざまな人や外の世界と関わる中で、主体的に行動する機会を提供するという目的で行われた企画。南区に拠点を持つ株式会社野毛印刷社、NPO 法人教育支援協会、近隣の３つの放課後キッズクラブとの連携により、実施した。

７月のキックオフイベントでは子どもたちがやりたいことのアイデアを出し合い、会社見学や企画会議を経て、１１月に企画イベントを実施。１２月には野毛印刷社の会議室で報告会を行った。

「大人への出発（たびだち）」

株式会社横浜ビール、株式会社大川印刷と連携して、横浜で学ぶ学生と横浜を愛する経営者が出会い、緩やかに交流できる場を作った。将来的には横浜に就職したい学生と企業をマッチングする機会にもしていきたいと考えている。

２０１４年度は試験的に３回実施した。

《第１回》

日時：２０１５年１月２９日（木）１９：００−２２：００

参加者：学生（２３名）、経営者（１１名）

会場：横浜ビール 驛の食卓

《第２回》

日時：２０１５年２月２６日（木）１９：００−２２：００

参加者：学生（７名）、経営者（４名）

会場：横浜ビール 驛の食卓

《第３回》

日時：２０１５年３月19日（木）１９：００−２２：００

参加者：学生（9名）、経営者（8名）

会場：横浜ビール 驛の食卓

４．市民活動や地域の課題解決に関する情報提供と問題提起

ホームページの運営

アクションポート横浜のホームページ（http://actionport-yokohama.org/）の運営を行った。

メールマガジンの発行

APY 通信を毎月 1 回発行し、会員向けに情報発信と活動報告を行った。

活動報告会の開催

２０１４年度活動報告会を実施した。これまで総会などで活動報告の場を設けてはきたが、報告会として独立して実施するのは初めての試み。第１部の報告会は日々活動に参加している若者メンバーから活動への思いや感想を話してもらい、第２部は交流会を行った。１００名近い方々にお越しいただいた。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

■日時:2015年3月7日(土)18:00― 21:00
■場所:BUKATSUDO

５．市民活動や地域の課題解決に関する政策提案

「新しい協働を考える会」への参加

2014 年度は、横浜市立大学が市民局から受託している「協働コーディネーター養成講座」の 1 回を担当し、原、土屋の 2 人の理事で講義とワークショップを行った。
また、2015 年度は本格的な横浜市市民協働条例見直しの年度になるので、より広範囲の方々と共にこの問題を考える目的で、市民局の「協働事業」に申請したが、残念ながら採択されなかった。

【次年度に向けて】
□協働コーディネーター講座は、「協働」について多くの方々と考える機会となった。また、不採択にはなったが、協働事業に申請するプロセスで、改めて協働の意義を検討できたのは、成果だったと考える。
◇今年は横浜市民協働条例について検討する時期なので、会としても何度か公開で条例の成果と改正すべき点があるかどうかの検討を行いたいと考えている。

６．市民活動や地域の課題解決に関する人材の発掘と育成

NPO インターンシップ（学生の NPO 活動体験の実施）

市内の大学と協力し、学生が一定期間 NPO でインターンとして活動するシステムを運営した。
夏休みを中心とする 10 日間活動する「短期インターンシップ」と６ヶ月間活動する「長期インターンシップ」の 2 種類のインターンを実施した。

	参加者数	受入団体
短期インターンシップ	31 名	20 団体
長期インターンシップ	５名	８団体

事前研修会１
６月１日（日）@神奈川大学

学生と団体のお見合い会
６月１日（日）@神奈川大学

事前研修会
７月５日（土）@神奈川大学

中間交流会
９月５日（金）
@市民活動支援センター

短期インターン生成果報告会
１０月４日（土）@神奈川大学

長期インターン生成果報告会
２月１０日（水）
@横浜市ボランティアセンター

◆参加大学

横浜国立大学(地域課題実習「市民活動を体験して考える協働型まちづくりプロジェクト」)、
横浜市立大学（まちづくりインターンシップ)、神奈川大学（実社会体験研究・インターンシップ準備演習）
フェリス女学院大学　（ボランティア活動科目１，２，３）　、桜美林大学（NGO/NPO 実務実習Ａ）
明治学院大学（福祉開発フィールドワーク）

◆参加 NPO

NPO 法人アークシップ、NPO 法人ＷＥ２１ジャパン、片倉うさぎ山公園管理運営委員会、NPO 法人教育支援協会、
NPO 法人ぐらす・かわさき、NPO 法人グリーンママ、コトラボ合同会社、NPO 法人さくらザウルス、
NPO 法人さなぎ達、障害者自立生活センター　ＩＬ・ＮＥＸＴ、鯛ヶ崎公園プレイパーク管理運営委員会、
NPO 法人地球市民ＡＣＴかながわ、日本の竹ファンクラブ、NPO 法人びーのびーの、NPO 法人みどり福祉ホーム、
NPO 法人横浜 NGO 連絡会、NPO 法人横浜 NGO 連絡会、横浜自然観察の森、NPO 法人アクションポート横浜

◆NPO 団体紹介冊子の作成

電通育英会の助成を受けて、２０１４年度 NPO インターンシップ報告書
「ツナカンおかわり」を作成した。
この冊子はインターンシップに参加した学生の体験談を元に、
各インターン受入 NPO の活動紹介をまとめた冊子で、２０１５年度の
参加学生や一般学生向けに配布をしていく予定。
作成は学生スタッフ、インターン生が担当した。

◆企業向けインターンシップのコーディネート

２０１４年度から企業への半年間のインターンシップのコーディネートも開始した。

《受け入れ先》

●横浜グリーン購入ネットワーク

期間：2014 年 7 月～2015 年３月
学生数：2 名
内容：どんぐりポイントに関わるホームページの更新、SNS の更新、
企業営業、グリーン購入ネットワークの会員募集及び事務作業

●横浜中華街パーキング協同組合

期間：2015 年 2 月～2015 年 8 月
学生数：1 名
内容：　組織の業務の改善案の提案、広報戦略の見直し

若者定着支援による団体基盤強化および活性化促進事業（神奈川県委託事業）

神奈川県のかながわボランタリー活動推進基金 21 の平成 26 年度ボランタリー団体成長支援事業に提案し、若者の活動への参加を希望する NPO・市民団体を公募し、応募のあった団体に対して、若者と年代の近い 20 代後半～30 代の中間支援組織の若手職員を派遣し、団体とともに若者の受け入れの方策を考え実践する事業を実施した。

□支援対象団体

《前期》８団体

NPO 法人フーズマイルぐりぐら、馬入水辺の楽校の会、NPO 法人 MAMA-PLUG、
NPO 法人野生動物救護獣医師協会神奈川支部、よこすか思いっきり遊ぶ会、NPO 法人地球の木
国際交流ゆめプロジェクト（ふらっとステーションチーム）、NPO 法人スマイルオブキッズ

《後期》12 団体（１団体途中辞退）

NPO 法人エンパワメントかながわ、NPO 法人ゆい、NPO 法人横浜シティガイド協会、NPO 法人アクト川崎、NPO 学習ルーム・パレット、NPO 法人マメポニ、ユニバーサル絵本ライブラリーUniLeaf、NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ、NPO 法人サポートひろがり、高津区市民健康の森を育てる会、NPO 法人ソフトエネルギープロジェクト、NPO 法人地球の木（継続）

□実施内容（前期・後期共、成果報告会のみ共通）

〇プレゼン大会＋基礎講座

・各団体からボランティアの募集を想定しての発表

・基礎講座＋ワークショップ／講師：高井 大輔（合同会社プラナス 代表）

『参加者 UP から育成までを考える～若者のパワーを引き出す３ステップ～』

〇支援者（伴走者）を派遣しての団体個別支援＋受入実践

下記の支援者がそれぞれの団体に赴き、団体とともに若者の受け入れの方策を検討し、実際に受け入れも行った。

高城 芳之（NPO 法人アクションポート横浜）、高橋 利道（NPO 法人アクションポート横浜）、桜井 光（NPO 法人藤沢市市民活動推進連絡会）、秦野 拓也（NPO 法人 NPO サポートちがさき）、高井 大輔（合同会社プラナス 代表）、吉田 朗子（NPO 法人 ぐらす・かわさき）

《個別支援例》

・学習支援ボランティアの学生の新規募集・定着を希望する団体に対して、沿線の大学の学生課・ボランティアセンターをマッチング。学生向けの説明会兼見学会を提案、内容の精査を支援。結果、３名が活動に参加。

・学童保育を運営する NPO に対して、学生が参加しやすい体験プログラムづくりを行うために、近隣の大学のボランティアセンターとマッチング。学生を巻き込んだ体験プログラムの検討・実施を支援。

〇先進事例体験

《体験先》NPO 法人 地球市民 ACT かながわ、講師：事務局長 伊吾田 善行 氏

「ボランティアマネジメント事例紹介『ボランティアさんが主役』

〇成果報告会

・事業説明、１年間の取り組みを通して見えたものを報告

・取り組み報告：参加団体のうち３団体について、伴走者とともに若者受入の実践に関して報告および質疑応答

・成果共有（ワールドカフェ）：参加者と伴走者・メンターが一緒になり若者受入に関して考える

・事業参加団体からのコメント

〇成果とりまとめ（報告書の作成）

・月１回程度実施した定例カンファレンスにおいて、個別支援で得た知見を収集し、報告書としてとりまとめた。

【成果と次年度に向けて】

□これまでのアクションポート横浜の活動の中で生まれた、若者を受け入れる団体側の持つ課題に対しての一つの解決策となりうる手応えを得た事業であった。次年度も別の助成金を得た上で取り組みを継続する。

■支援対象となる NPO・市民団体からの収益が見込めないため、資金獲得の方法の検討が必要である。

横浜型プロボノプロジェクト「横浜アクションプランナー」（YOKOHAM ACTIONPLANNER）

若手社会人約 80 名が参加し、NPO の広報支援や若者を巻き込んだプロボノ活動などを実施した。
設立から５年目となる 2014 年度は中央ろうきんから助成を受けて、これまでの活動の総括とノウハウをまとめた冊子を作成し、配布した。

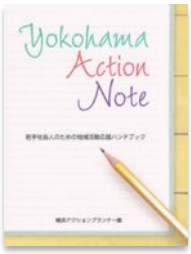
〇活動説明会の実施（２０１４年度キックオフ）
・５月２４日（土）＠横浜市市民活動センター

〇NPO への広報サポート活動
《支援先》
・NPO 法人 Junko Association：会員獲得に向けたサポート
・NPO 法人教育支援協会：ホームページ作成、イベント広報
・都筑民家園：イベントサポート

〇地域連携活動
地域の NPO と連携し、YAP 主催イベントを実施。
・地産地消流しそうめん　8 月 30 日(土)＠都筑民家園
・横浜サンタプロジェクトでブース出店　12 月 6 日（土）
・小学生ともちつき大会　1 月 24 日（土）＠川上小学校

〇横浜珍百景プロジェクト
若者目線で横浜の魅力を発掘していこうというプロジェクト。
7 月 6 日（土）＠鶴見

〇YAP５周年イベントの実施と冊子の発行
活動 5 周年を迎えることを記念し、これまでの活動成果と「きっかけづくりのノウハウ」をまとめたハンドブックを発刊した。
また、「横浜ではじめるプロボノフォーラム」を実施し、東京の NPO や埼玉のプロボノ団体を招いて、「地域プロボノ」について議論する場を作った。



［日時］2015 年 3 月 14 日(土) 13:30～16:30
［会場］神奈川近代文学館 中会議室
［内容］・YAP 発行「横浜アクションノート」ご紹介
・トークセッション「地域型プロボノとは？」
（登壇団体）
NPO 法人 NPO コミュニケーション支援機構(a-con)
Social Marketing Japan
NPO 法人埼玉情報センター
・若者がレポートする NPO 情報サイト「Spice+」ご紹介
・交流会

【成果と次年度に向けて】
□4 年目の活動となったが、若者 80 名となり、他の若者団体とも連携して自主的に活動を行うことができた。
□定期的に活動を展開し、活動の基盤を整えることができた。
■忙しい社会人がメンバーなので、チームマネジメントとアウトプットの質は引き続き検討が必要。

高校生ボランティアセンターfriends アドバイス事業（神奈川県との連携）

神奈川高校生ボランティアセンターにて高校生のアイディアが実現できるようアドバイザーとして参加した。
（神奈川県教育委員会主催）

□主な活動

●研修会の実施（５−８月、計７回）
　５月のスタッフ登録会後は、ボランティアの基礎知識を学んだり、活動体験を行う研修会を実施した。

●企画会議の実施（９月−１２月、計８回）
　一般高校生が参加するボランティア企画を実施すべく、企画会議を行い、活動へのアドバイスを行った。

●企画事業の実施
　一般高校生を募集し、ボランティア企画を実施。2014 年度は子ども向けの工作教室、スポーツ大会を実施。

●報告会を開催
　１年間の活動の成果を発表する報告会を実施した。

さかえ Walker（横浜市栄区委託事業）

若者が主体的に企画に参加し、栄区の魅力を若い世代を中心とした市民に発信していくことを目的に、まち歩き活動や区民との交流活動を行った。

●まち歩きを実施
　栄区内の地域を歩き、地域住民との交流をしながら栄区の魅力を若者目線で発掘した。
　twitter と連動し MAP 化する仕組みを使用し、若者が気軽に参加できるよう工夫した。
　１１月と２月に２回ほど実施した。

●区民まつりで市民インタビュー
　区民まつりにブース出店し、参加して「市民からみた栄区の魅力」を収集した。
　地域の方ともコミュニケーションが取れ、さかえ walker の広報もできた。

●まとめ MAP を作成
　これまでのまち歩き&ヒアリングで得た情報をまとめ、MAP を作成した。

●SAKAE ヤングフェスティバルに出店（活動報告）

活動報告も兼ねてイベントでの MAP の展示と中学生への栄区の魅力の発信を行った。

●メディア掲載

タウンニュースと読売新聞に活動が掲載された。

学生企画エコツアー

横浜市資源循環公社とアクションポート横浜が連携して行った企画で、学生を対象とした環境問題の啓発ツアーを行った。２０１４年度は横浜市内の環境サークルが連携し、合同の新入生歓迎ツアーをテーマに企画を実施した。今後も継続していく予定。

1day for others の受入

明治学院大学が主催するプログラム「1day for others」の受入を行い、大学生約２０名の活動体験の場を作った。

インターン生の受入

2014 年度は牧野さん、鈴木さん、長岡さん、鈴木さん、小池さんの４名が長期のインターン生として活動してくれた。

第2号、第4号議

特定非営利活動法人アクションポート横浜　2014年度収支計算書および2015年度予算

収入の部

項目	2014年度予算	2014年度決算	2015年度予算	備考
会費・寄付金収入	**400,000**	**908,049**	**1,255,000**	
運営会員会費	150,000	159,000	450,000	5,000円×30口、企業会員30.000×10口
一般会員会費	50,000	193,000	305,000	3,000円×30口、企業会員10.000×20口 学生会員　500円×３０口
寄付金	200,000	556,049	500,000	理事、会員からの寄付金
事業収入	**22,310,000**	**22,364,943**	**19,135,000**	
1.市民や組織の連携により、新たな事業やシステムを創造するためのプロジェクト				
1-①横浜サンタプロジェクト	200,000	307,004	250,000	
1-②HSBC Water Programme	4,500,000	4,500,000	4,000,000	
1-③板橋プロジェクト（仮）	1,000,000	313,170	0	
1-④体験レポート型情報サイトSPICE＋（旧 みんなで作る！「市民活動百貨」）（横浜市市民活動支援センター自主事業）	2,000,000	2,000,000	1,900,000	
2.市民や市民活動団体の地域の課題解決や、そのための組織運営を支援するプロジェクト				
2-①市民活動による地域の元気！創出プロジェクト～	10,000	500	1,000	「地域を元気にする７つのツボ」 頒布代金500円
2-②ヨコハマ市民まち普請事業	3,800,000	4,104,000	4,400,000	ヨコハマ市民まち普請事業 横浜市都市整備局委託金
2-③あさひみらい塾（旭区地域づくり大学校）	0	991,754	1,200,000	
2-④地域少子化対策強化交付金事業における独身・未婚者向けセミナー（横浜市こども青少年局）	0	353,430	500,000	
3.市民活動や地域の課題解決に関する相談、コーディネート				
3-①認定・指定NPO法人による相談窓口事業の受託（横浜市市民局）	100,000	99,360	0	
3-②盆栽カフェ	1,000,000	305,626	350,000	
3-③企業からの相談対応・コーディネート	500,000	278,001	1,000,000	JX研修、みなみハッピープロジェクト他
4.市民活動や地域の課題解決に関する情報提供と問題提起	0	0	10,000	google adsense 広告料
4-①ホームページの運営	0	0	0	
4-②メールマガジンの発行	0	0	0	
4-③情報誌の発行	0	0	0	
4-④報告会、総会	200,000	183,500	200,000	
5.市民活動や地域の課題解決に関する政策提案				
5-①「子どもの貧困を考える」シンポジウム	0	8,000	30,000	
6.市民活動や地域の課題解決に関する人材の発掘と育成				
6-①NPOインターンシップ（学生のNPO活動体験の実施）	650,000	718,746	3,700,000	大学からの謝金等＋トヨタ財団の助成金＋企業インターンシップ
6-②若者定着支援による団体基盤強化および活性化促進事業（神奈川県委託事業）	7,200,000	7,200,000	0	
6-③高校生ボランティアセンターfriendsアドバイス事業	150,000	167,500	160,000	
6-④さかえWalker（横浜市栄区委託事業）	0	507,600	0	
7.上記事業を推進するための、創造と連携の拠点づくりと運営	0	0	0	
8.その他	1,000,000	326,752	1,434,000	
講演料	**50,000**	**75,696**	**100,000**	
広告料収入	**0**	**0**	**0**	
受取利息	**0**	**957**	**0**	普通預金利息
雑収入	**0**	**6,605**	**0**	
当期収入合計（A）	**22,760,000**	**23,356,250**	**20,490,000**	
前年度繰越金	**3,417,243**	**3,417,243**	**5,282,533**	
収入合計（B）	**26,177,243**	**26,773,493**	**25,772,533**	

支出の部

項目	2014年度予算	2014年度決算	2013年度決算	備考
管理人件費	**0**	**0**	**0**	
旅費交通費	**950,000**	**759,828**	**900,000**	
法定福利費	**1,500,000**	**1,090,959**	**1,200,000**	社会保険料、労働保険料
福利厚生費	**25,000**	**18,995**	**20,000**	健康診断料等
事務所賃貸料	**1,300,000**	**1,291,358**	**1,300,000**	光熱費込
会議費	**50,000**	**32,832**	**50,000**	
消耗品費	**150,000**	**320,725**	**200,000**	プリントートナー費,文房具代,名刺代等
通信費	**200,000**	**207,481**	**210,000**	電話・インターネット料金、切手代等
諸会費	**50,000**	**45,000**	**50,000**	
事業人件費	**11,080,000**	**9,755,324**	**9,700,000**	正規ｽﾀｯﾌ2人、専門ｽﾀｯﾌ1、学生ｽﾀｯﾌ3人
事業支出	**6,775,000**	**7,042,638**	**5,950,000**	
1.市民や組織の連携により、新たな事業やシステムを創造するためのプロジェクト				
1-①横浜サンタプロジェクト	50,000	2,210	10,000	
1-②HSBC Water Programme	2,500,000	1,286,789	1,500,000	
1-③板橋プロジェクト（仮）	200,000	342	0	
1-④体験レポート型情報サイトSPICE＋（旧 みんなで作る！「市民活動百貨」）（横浜市市民活動支援センター自主事業）	447,800	318,051	450,000	横浜市市民活動支援センター自主事業補助金
2.市民や市民活動団体の地域の課題解決や、そのための組織運営を支援するプロジェクト				
2-①市民活動による地域の元気！創出プロジェクト～	0	0	0	
2-②ヨコハマ市民まち普請事業	1,300,000	1,384,413	1,600,000	
2-③あさひみらい塾（旭区地域づくり大学校）	0	320,779	400,000	
2-④地域少子化対策強化交付金事業における独身・未婚者向けセミナー（横浜市こども青少年局）	0	133,354	150,000	
3.市民活動や地域の課題解決に関する相談、コーディネート				
3-①認定・指定NPO法人による相談窓口事業の受託（横浜市市民局）	0	0	0	
3-②盆栽カフェ	200,000	25,526	50,000	
3-③企業からの相談対応・コーディネート	130,000	144,548	100,000	JX研修、みなみハッピープロジェクト他
4.市民活動や地域の課題解決に関する情報提供と問題提起				
4-①ホームページの運営	10,000	0	10,000	ドメイン取得料、更新委託料等
4-②メールマガジンの発行	0	0	0	
4-③情報誌の発行	0	0	0	
4-④報告会、総会	150,000	204,269	150,000	
5.市民活動や地域の課題解決に関する政策提案				
5-①「子どもの貧困を考える」シンポジウム	0	13,477	30,000	
6.市民活動や地域の課題解決に関する人材の発掘と育成				
6-①NPOインターンシップ（学生のNPO活動体験の実施）	350,000	197,544	1,000,000	
6-②若者定着支援による団体基盤強化および活性化促進事業（神奈川県委託事業）	1,240,000	2,707,218	0	
6-③高校生ボランティアセンターfriendsアドバイス事業	0	13,100	0	
6-④さかえWalker（横浜市栄区委託事業）	0	13,668	0	
7.上記事業を推進するための、創造と連携の拠点づくりと運営	0	0	0	
8.その他	197,200	277,350	500,000	
支払手数料	**350,000**	**486,294**	**500,000**	振込手数料、税理士報酬等
雑費	**10,000**	**24,026**	**10,000**	
雑損失	**0**	**0**	**0**	
租税公課	**250,000**	**345,500**	**330,000**	消費税、収入印紙等
法人税・法人住民税・法人事業税	**70,000**	**70,000**	**70,000**	
当期支出合計（C）	**22,760,000**	**21,490,960**	**20,490,000**	
支出合計（D）	**22,760,000**	**21,490,960**	**20,490,000**	
当期収支差額（A−C）	**0**	**1,865,290**	**0**	
当期末収支差額（B−D）	**3,417,243**	**5,282,533**	**5,282,533**	